

那須塩原市の地域学校協働本部事業について

1 地域学校協働本部事業の特徴

- (1) 市の総合計画や生涯学習推進プランに位置づけて、地域づくりの核として推進
- (2) 計画的（平成29年度～令和元3年度の5年間）に全中学校区へ設置
- (3) 地域学校協働活動推進員を養成し、コーディネート機能を充実

【基本目標】

- ・学校と地域、地域と地域のコーディネート機能の充実
- ・地域の特性を生かした多様な活動の推進
- ・継続的な活動が可能な組織づくり
- ・大人と子どもの交流が盛んな地域づくり

2 組織づくり

- (1) 本部の立ち上げ：各中学校区を一つのエリアとして、市内に10の本部を設置

○3者合同会議：本部設立までの準備を行う会議

- ・事務局は市教育委員会生涯学習課
- ・設立までのプロセスをコーディネート

平成29年度	準備期間
平成30年度	3中学校区
令和元年度	3中学校区
令和2年度	2中学校区
令和3年度	2中学校区

- (2) 各本部の組織

○本部会議：地域学校協働活動の方針や実際の活動等を協議する会議

- ・事務局は公民館
- ・地域学校協働活動推進員を各校に配置

3 人づくり

○市独自で地域学校協働活動推進員を養成・委嘱

- ・学校からの推薦
例) PTA 役員、コミュニティ役員、保護者
自治会役員、地域関係者、退職教員 等
- ・養成講座（年4回）、フォローアップ研修
- ・役割として、学校への一方的な支援ではなく、地域住民への情報提供や活動促進等、双方向のつながりをつくる。

地域学校協働活動推進員

学校支援ボランティアをつなぐ



地域の個人や団体をつなぐ

地域の声を学校に届ける



平成30年度・・・7名
令和元年度・・・17名 計24名の推進員が活動

4 実際の取組

(1) 【敬老会への参加】

- ・ 地域学校協働活動推進員から学校へ提案
- ・ 地元小学校合唱部が敬老会へ参加することにより自治会活動の活性化につながった。



(2) 【日新サミット】

- ・ 地域学校協働本部の企画
- ・ 小学校児童会、中学校生徒会が中心となり、地域課題について地域住民と解決策について協議した例) ネット利用のルールづくり



(3) 【箒川リフレッシュ大作戦】

- ・ 地域の多様な団体との連携
- ・ 地域全体で地域の河川を保全することで、ふるさとを慈しむ心を育んだ。
関係団体) 塩原ケーブルTV、大田原土木事務所
塩原公民館、塩原消防署、塩原漁協、各自治会、
更生保護女性会、那須塩原警察署 等



5 本部設立や地域学校協働活動推進員の配置の効果

- ・ 本部組織を設立したことにより、継続的な活動が展開されている。
- ・ 地域学校協働活動推進員を養成、配置したことにより、コーディネート機能が充実するとともに、地域と学校の双方にメリットのある活動が展開されている。
- ・ 子どもたちが地域へ参加する機会が増え、大人と子どもの交流が促進され地域の活性化につながっている。

